

2024年2月

個人投資家のみなさまへ ユアテック会社説明会

Yurtec

確かな**技術力**で新たな時代への**挑戦**

東証プライム市場
銘柄コード：1934

目次

01 ユアテックについて

02 ユアテックの強み

03 業績、株主還元、中期経営計画

04 サステナビリティへの取り組み

05 ご参考

目次

01 ユアテックについて

02 ユアテックの強み

03 業績、株主還元、中期経営計画

04 サステナビリティへの取り組み

05 ご参考

会社概要

社名

株式会社ユアテック

本社所在地

宮城県仙台市

業種

建設業（設備工事業）

親会社

東北電力株式会社

上場市場

東京証券取引所

プライム市場

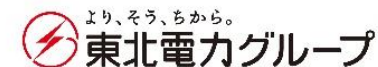
（銘柄コード：1934）



決算期

3月31日

数字で見るユアテック



設立年



1944年

従業員数



（連結）5,589名
（個別）3,750名
2023年3月31日現在

国内事業所数



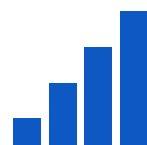
81事業所
2023年3月31日現在

連結子会社数



16社
うち海外 2社
2023年3月31日現在

連結売上高



2,273億円
2022年度

資本金



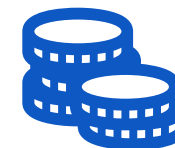
78億390万円
2023年3月31日現在

時価総額



約846億円
2024年1月31日現在

配当利回り

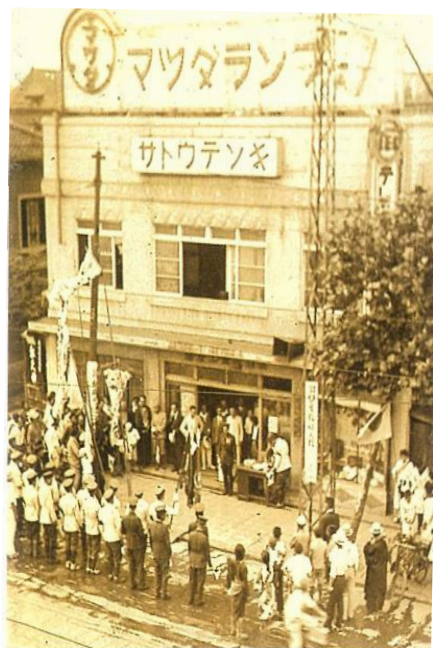


2.56%
2024年1月31日現在

2024年10月に創立**80**周年を迎える

1944年10月

東北電気工事株式会社
(Tohoku Electrical Construction)



設立時の本社社屋
(2階)

1991年4月

社名変更
株式会社ユアテック



ユア(YUR)

= 「みなさんの・お客さまの・社会の」を表します。
語感から「融和」を表します。

テック(TEC)

= 「テクノロジー・技術」を表します。
前社名の英訳名の頭文字を表します。

2024年



本社ビル
(仙台駅東口)

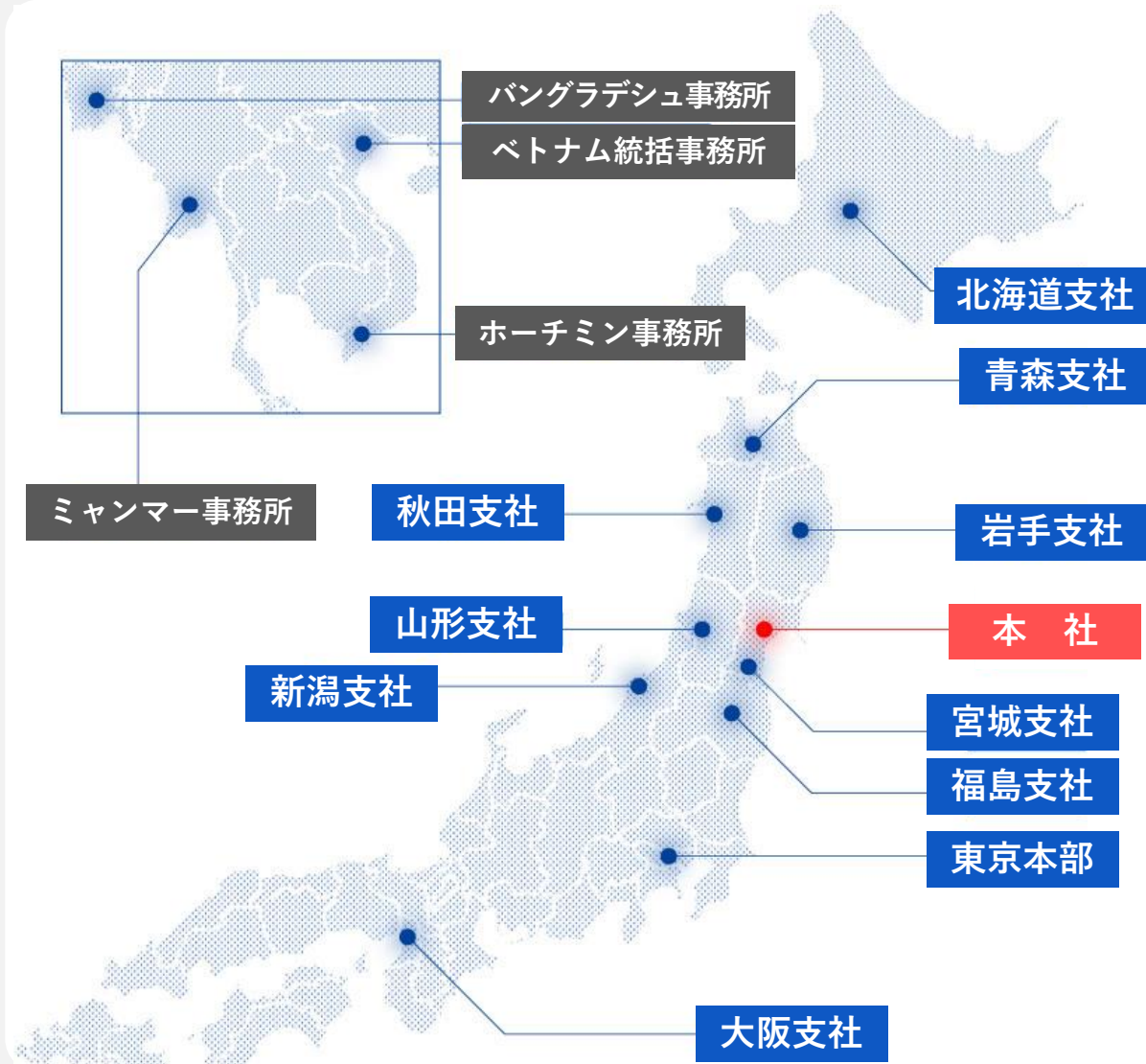


取締役社長
社長執行役員
太田 良治

ユアテックは
お客さまの心ゆたかな価値の創造に協力し、
社会の発展に貢献します。



◆ 広大で多彩なフィールドがユアテックのステージ



国内

東北 6 県と新潟県を中心に

81 事業所

海外

3 か国に事業所を展開

(ベトナム、ミャンマー、バン格拉デシュ)

アフリカ
東南アジアなど ⇒ **30** か国での
施工実績
(ODA含む)

◆ 総合設備エンジニアリング企業として、多岐にわたる工事を施工

主に一般得意先工事

屋内配線



空調管



情報通信



再生可能エネルギー



主に東北電力グループ工事

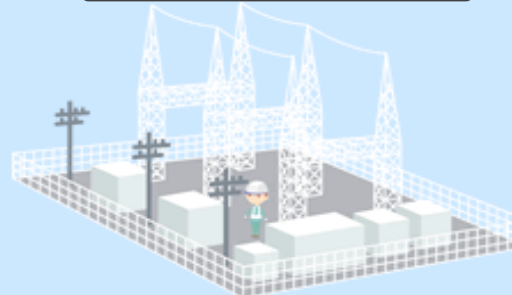
配電線



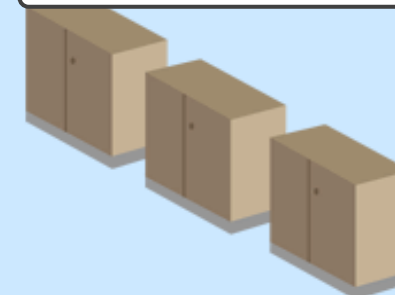
送電



発電電



土木建築



一般得意先工事（ゼネコン、官公庁、一般企業 等）

屋内配線工事

日常生活の場を快適に、
便利に、そして安全に
使用できる電気設備を
施工



空調管工事

空気環境を良好に維持
する空気調和設備、ト
イレや給水をはじめと
する給排水衛生設備等
を施工



情報通信工事

インターネットや携帯
電話等の生活に欠かせ
ない情報通信インフラ
設備を施工



再生可能 エネルギー工事

風力や太陽光などの再
生可能エネルギー発電
設備を施工



配電線工事

発電した電気を建物までお届けするための配電設備を施工



送電工事

発電所でつくられた電気を変電所まで運ぶ送電線路を施工



発電変電工事

電気を生み出す発電所、電力流通の拠点となる大型変電所に関する工事を施工



土木建築工事

無電柱化工事など各種電力設備の土木建築に係る工事を施工



映像



自然災害発生時

◆ ライフラインを守る使命を担う

東北電力グループの一員として、

1日も早いライフラインの回復に向け、復旧作業を行う



2011年3月 東日本大震災
(宮城県)



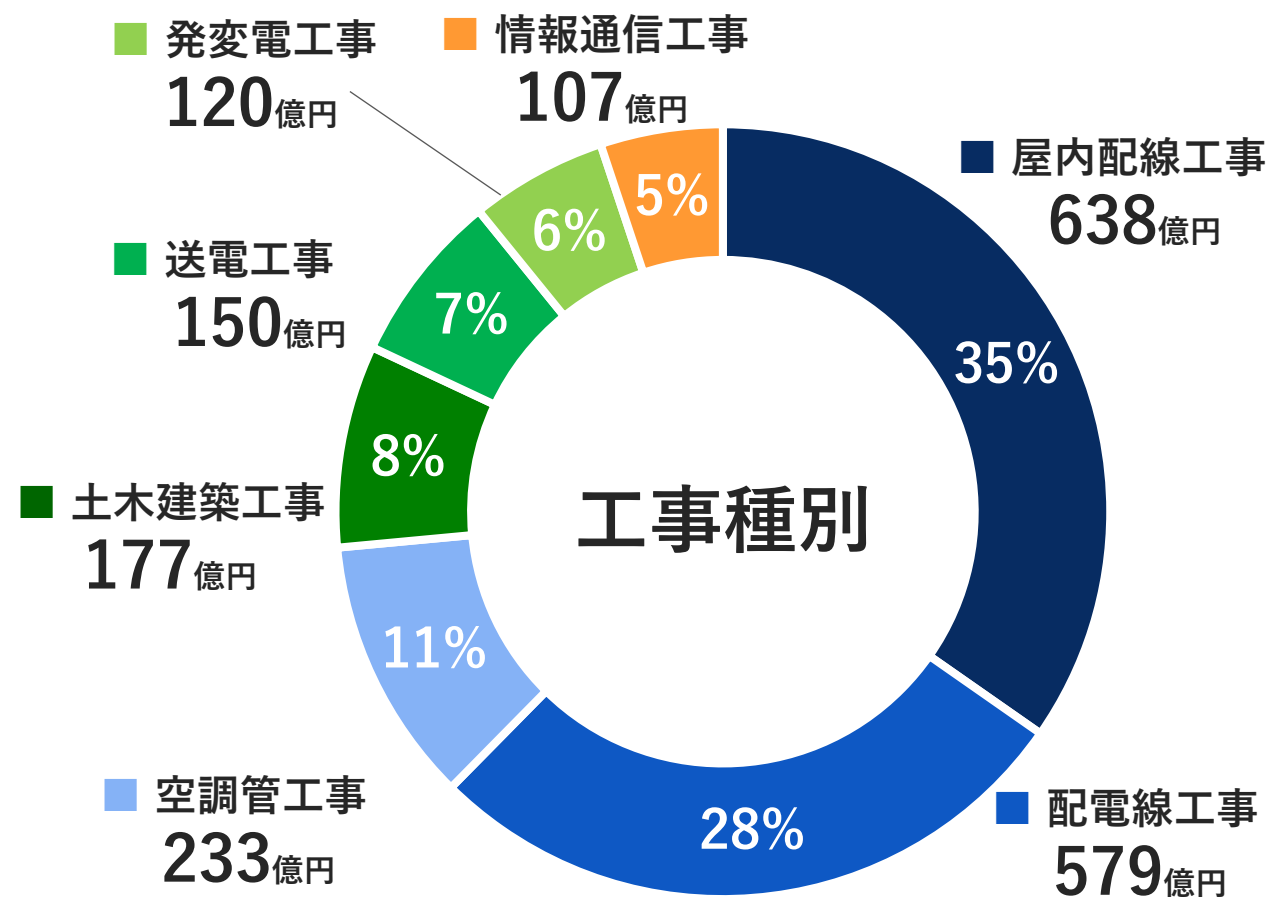
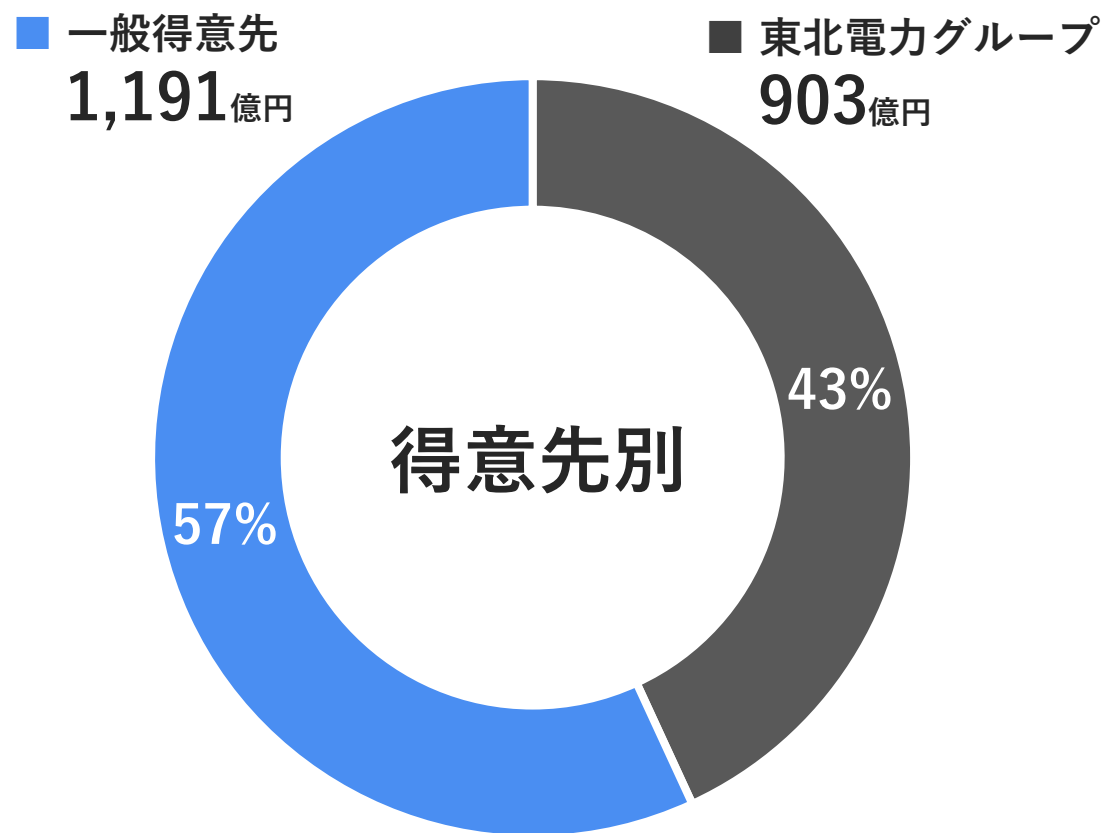
2019年9月 令和元年台風15号
(千葉県)



2024年1月 能登半島地震
(石川県)

◆ 屋内配線、配電線、空調管工事が約 7 割を占める主力事業

2022年度 個別売上高 **2,094** 億円の内訳



目次

01 ユアテックについて

02 ユアテックの強み

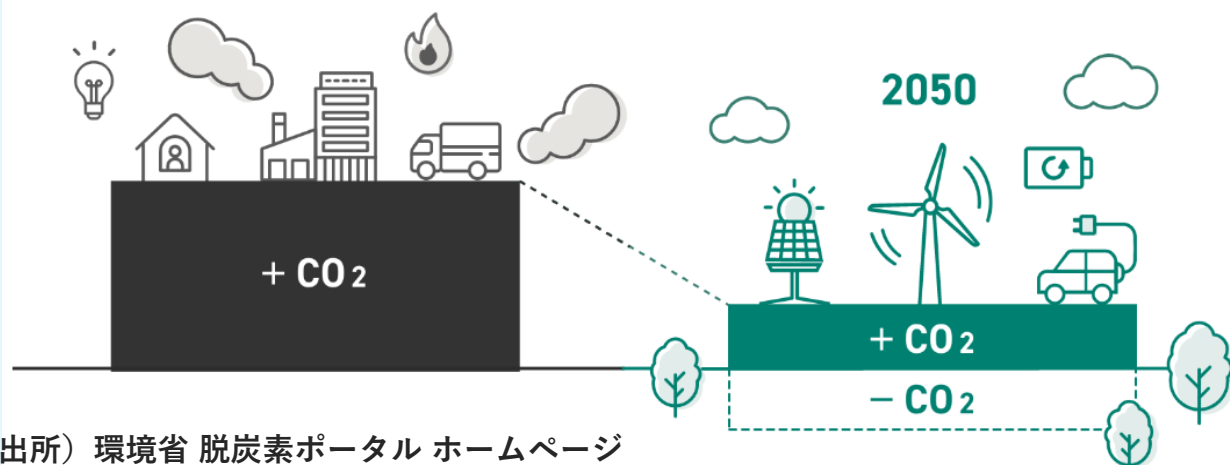
03 業績、株主還元、中期経営計画

04 サステナビリティへの取り組み

05 ご参考

「2050年カーボンニュートラル宣言」

2020年10月、国は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする
カーボンニュートラルを目指すことを宣言



(出所) 環境省 脱炭素ポータル ホームページ

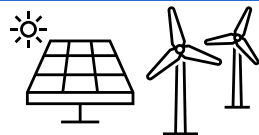
[https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/] (参照：2024年1月23日)

- カーボンニュートラル社会実現への取り組み加速
- サステナビリティへの関心の高まりを受けたESG経営推進

- 再生可能エネルギーの電源比率上昇
- 全国大での広域連携システムの整備

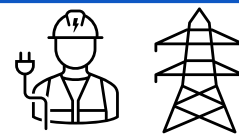
国が推進するカーボンニュートラルに向けた取り組みと当社事業の親和性の高さが強み

強み (1)



✓ 再生可能エネルギーの導入

強み (2)



✓ 基幹送電網の増強

強み (3)



✓ 省エネルギーの推進



1 再生可能エネルギーの導入

- ・ 東北各地で再エネ設備建設の計画
- ・ 地元企業としての「地の利」



2 基幹送電網の増強

- ・ 大規模な設備投資計画
- ・ 東北に確固たる事業基盤



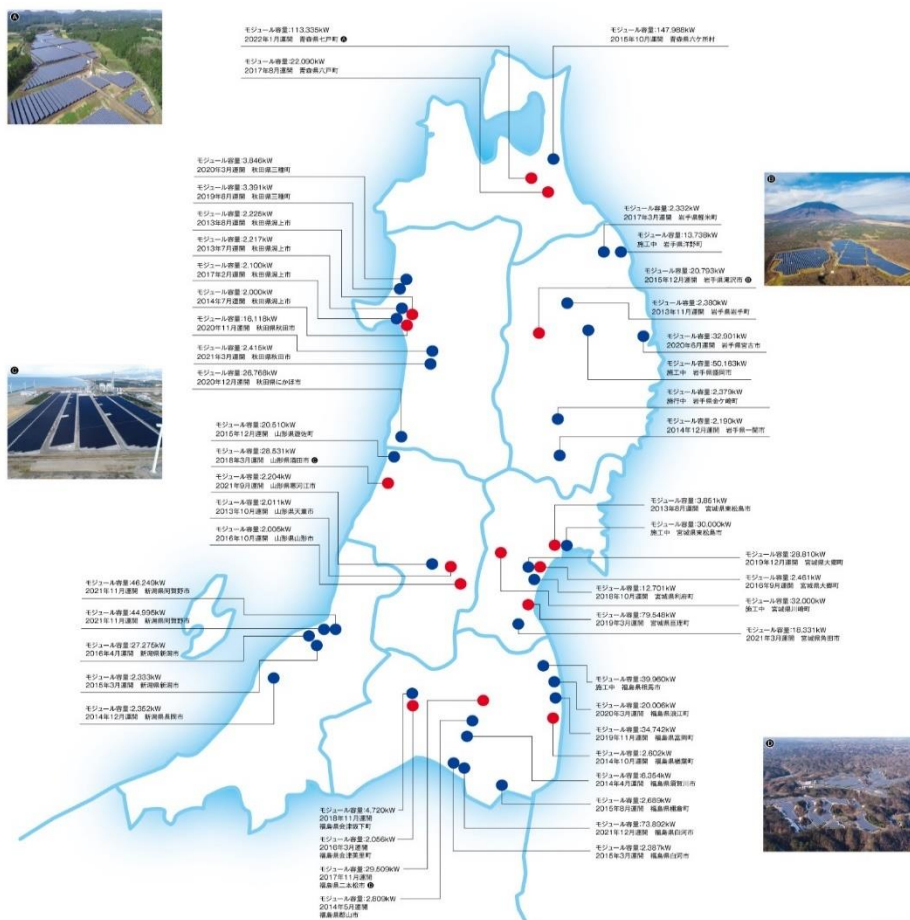
3 省エネルギーの推進

- ・ 市場拡大への期待
- ・ ZEBに関する専門的知見

◆ 太陽光：297件、モジュール容量 約130万kWの施工実績

(2012年度以降の施工実績合計 (2024年1月末時点))

主な施工実績



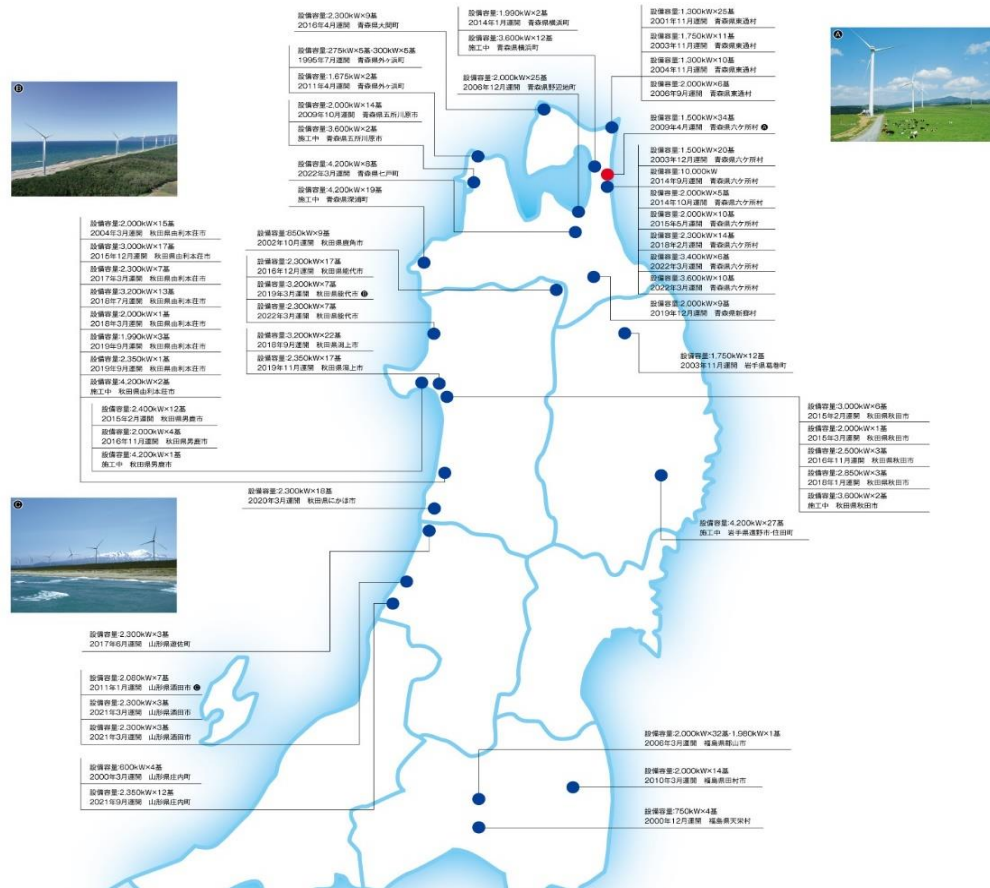
亘理太陽光発電所（宮城県）



◆ 風 力：49件、設備容量 約90万kWの施工実績

(2012年度以降の施工実績合計 (2024年1月末時点))

主な施工実績



ユース東由利原ウインドファーム（秋田県）



(1) 再生可能エネルギーの導入

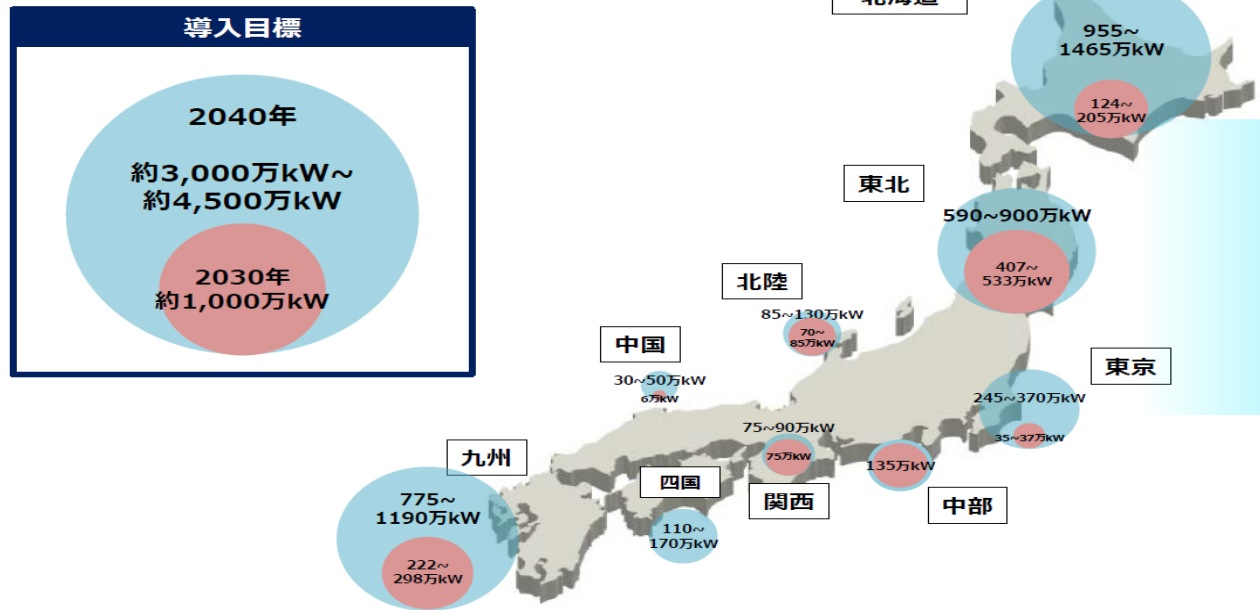
- ◆ 東北各地で洋上風力を中心に大型風力発電設備の建設が計画
- ◆ 地元企業としての「地の利」を活かした優位性

事業基盤である東北が適地であると示されており、高い導入目標値

(東北：2040年までに**590～900万kW**) が掲げられている

■ 国が示す洋上風力発電導入目標

【参考】エリア別の導入イメージ



受注拡大
を目指す

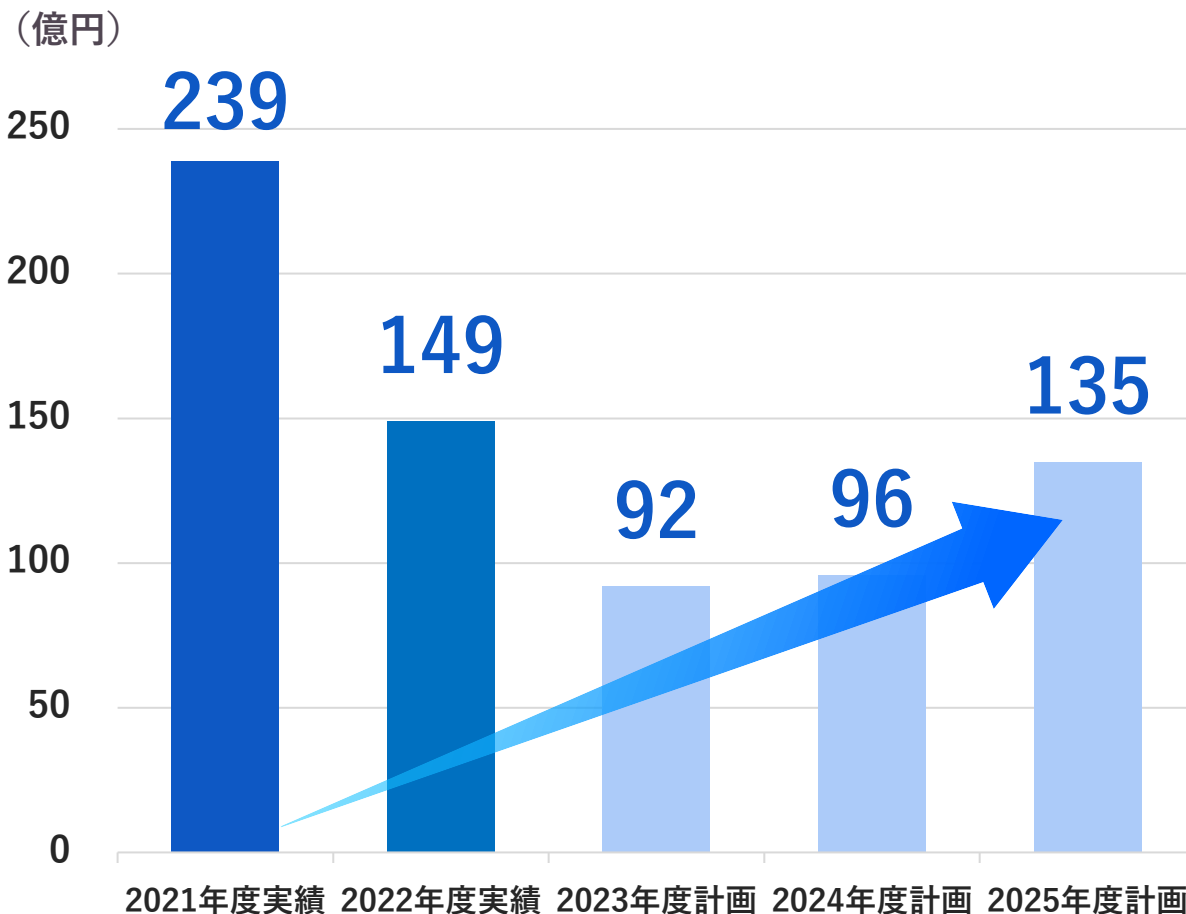
再エネ工事
20年以上の実績

(1) 再生可能エネルギーの導入

◆ 再生可能エネルギー工事の受注拡大を目指す

再エネ工事の個別売上計画

(主な工事：屋内配線・送電・発電機・土木建築)



20年以上の豊富な実績

風 力： 地元企業として
「地の利」を生かした受注獲得

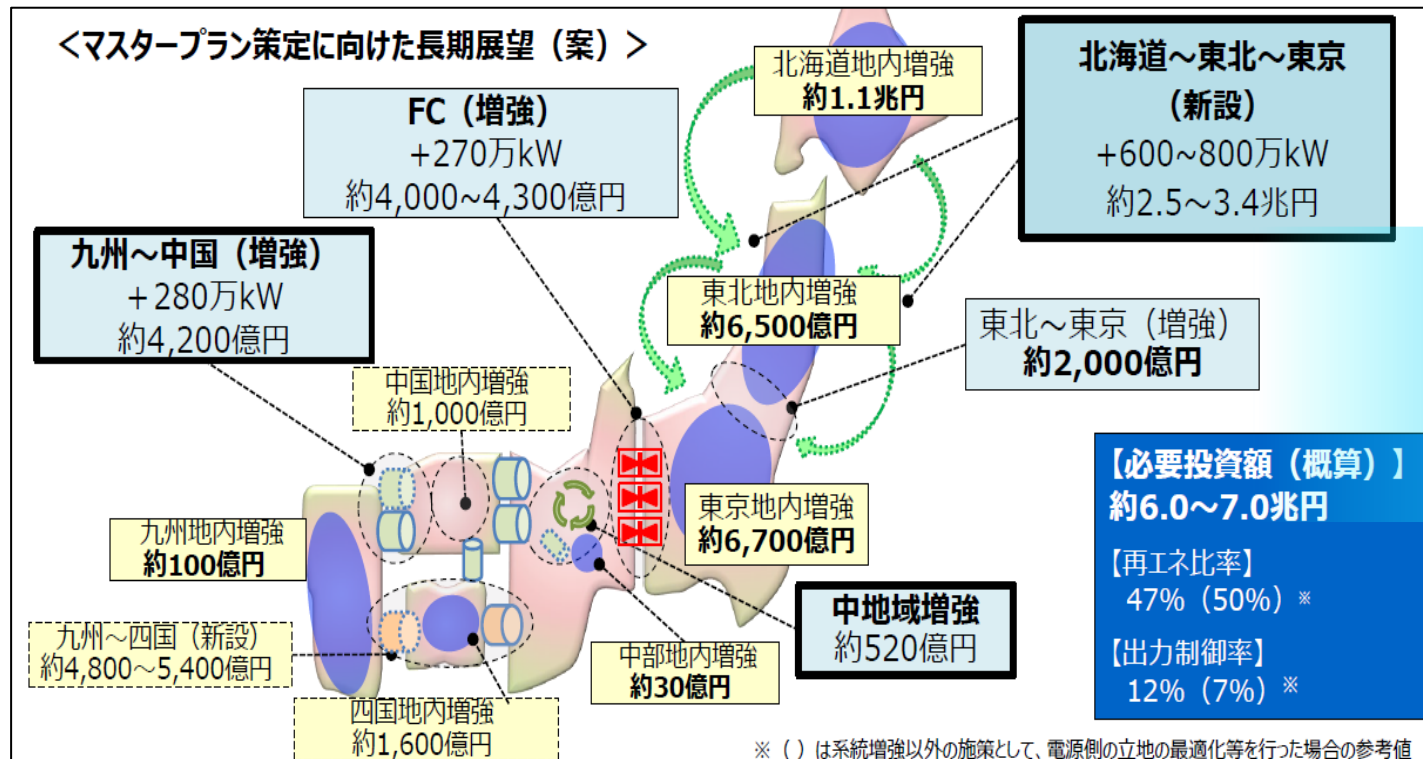
太陽光： 自家消費型
太陽光発電設備の受注確保

(2) 基幹送電網の増強

- ◆ カーボンニュートラルを見据えた大規模な設備投資計画
- ◆ 東北での確固たる事業基盤

送電網の増強に、東北地内では約**6,500億円**、
東北～東京間では約**2,000億円**の投資を試算

■ 国が策定している送電網増強案



継続的な
受注機会

東北に確固たる
事業基盤

(出所) 経済産業省 資源エネルギー庁「電力ネットワークの次世代化」[2022年12月6日] 4頁

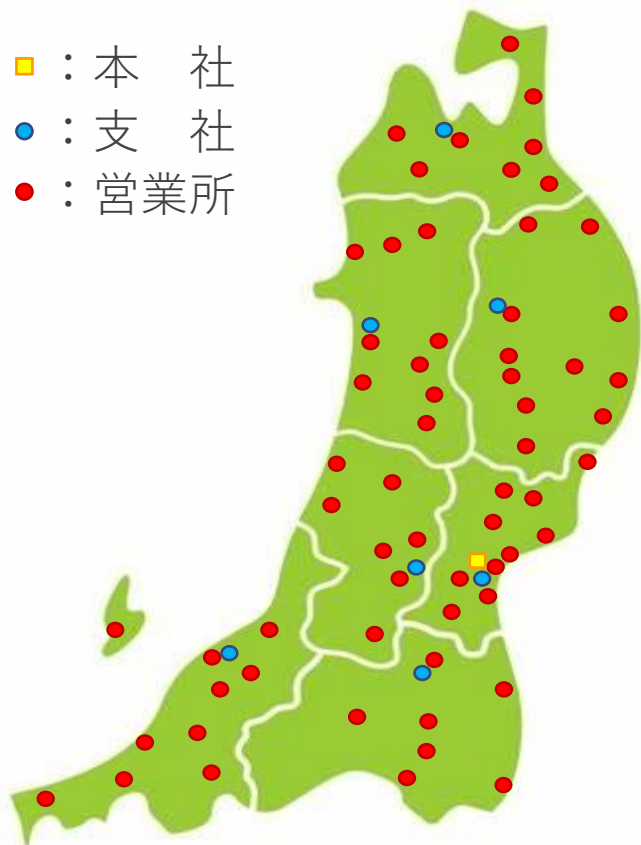
(2) 基幹送電網の増強

◆ 東北と新潟全域の事業所ネットワークと信頼の実績

東北と新潟の事業拠点

約**70**個所

- : 本 社
- : 支 社
- : 営業所



グループ会社 **13**社※

協力会社 約**420**社※

取引企業 約**80,000**社

東北エリア
総合設備工事会社
工事有資格者数
No.1

東北エリア
総合設備工事会社
売 上
No.1

※東北・新潟エリアに拠点を置くグループ会社・協力会社数

(3) 省エネルギーの推進

◆ 国の施策により、ZEBを含む省エネ市場の拡大が予想されている

■ 国が策定している地域脱炭素ロードマップの重点対策

地域脱炭素ロードマップの重点対策(赤字がZEB関連対策)

- 1 屋根置きなど自家消費型の太陽光発電
- 2 地域共生・地域裨益型再エネの立地
- 3 公共施設など業務ビル等における徹底した省エネと再エネ電気調達と更新や改修時のZEB化誘導
- 4 住宅・建築物の省エネ性能等の向上
- 5 ゼロカーボン・ドライブ（再エネ電気×EV/PHEV/FCV）
- 6 資源循環の高度化を通じた循環経済への移行
- 7 コンパクト・プラス・ネットワーク等による脱炭素型まちづくり
- 8 食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立

出所) 内閣官房「地域脱炭素ロードマップ」(2021年6月)より作成

国は
「地域脱炭素ロードマップ」
を策定

ロードマップの重点対策として
省エネ市場の
拡大が予想

(出所) 環境省 ZEB PORTAL ホームページ「<https://www.env.go.jp/earth/zeb/detail/02.html>」(参照: 2024年1月23日)

(3) 省エネルギーの推進

◆ 自社事業所へのZEB導入で得た知見をもとにお客さまへの提案

ZEBとは、ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの略称

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物



当社大船渡営業所 外観
「ZEB Ready」を取得



寒冷地仕様高効率
ビル用マルチエアコン



高効率高天井LED器具



省エネ・ZEB化



- ・CO2削減
- ・エネルギーコスト削減
- ・将来的な改修コスト削減

2022年
「ZEBプランナー・リー
ディングオーナー」に登録

2023年 5 月
自社事業所への導入

お客さまへの
省エネ・ZEB化提案

(3) 省エネルギーの推進

◆ 事業を通してカーボンニュートラルの実現に貢献

お客さまニーズを満たしていくとともに

人と地球に優しい**低炭素社会の実現に貢献**

省エネ性の高いシステムを複数導入（新築工事）

秋田県民生協会 セントラルキッチン（秋田県）



天井換気システム（写真上部）
を備えた調理室



高効率ヒートポンプ式外調機

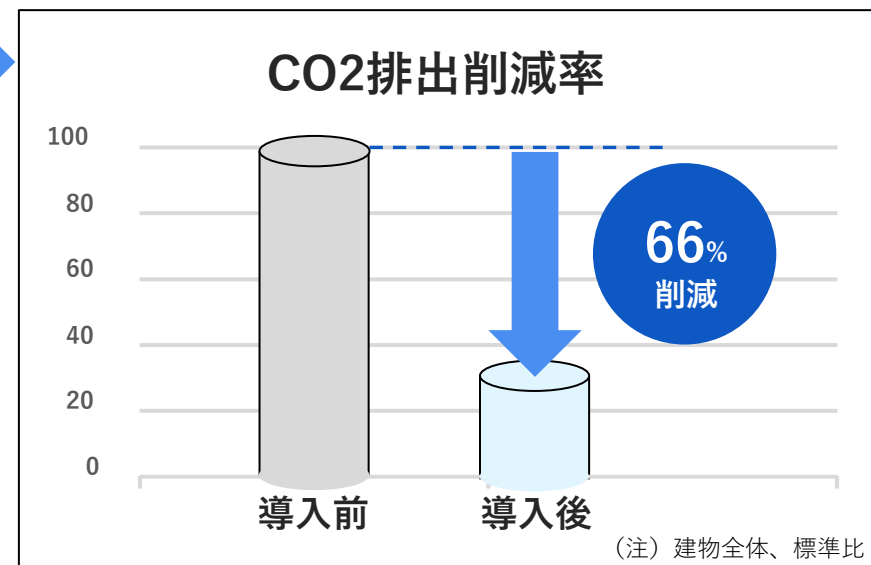


ZEB Ready※
導入効果により



省エネルギー量 **4,998GJ/年**

CO2排出削減率 **66%**



※ZEBを見据えた先進建築物として、
外皮の高断熱化および高効率な省エネルギー設備を備えた建築物

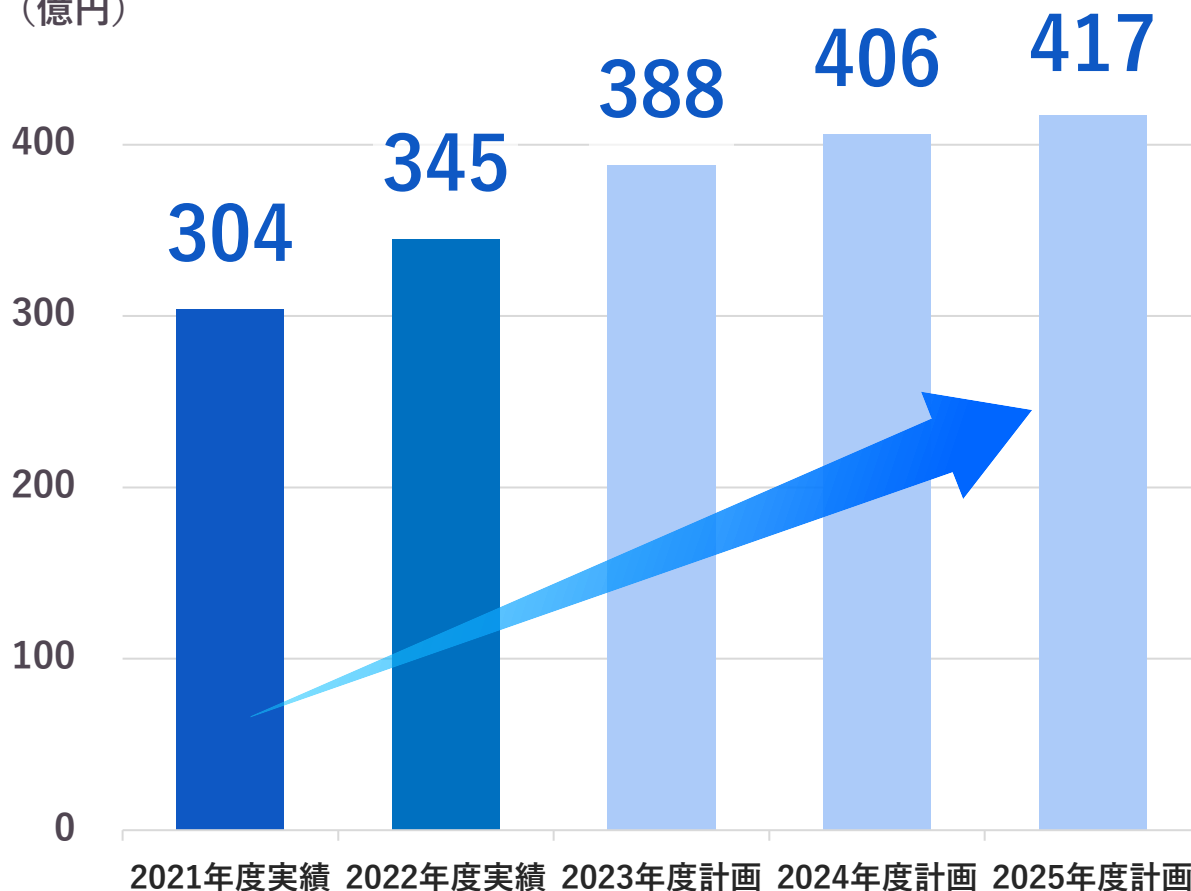
(3) 省エネルギーの推進

◆ 省エネ・ZEB等を含むリニューアル営業の強化

リニューアル工事の個別売上計画

(主な工事：屋内配線・空調管)

(億円)



「建物データベース」

を活用したリニューアル提案

ZEB プランナー

として、地元でのシェア確保、拡大



強固な **収益基盤** を構築

目次

01 ユアテックについて

02 ユアテックの強み

03 業績、株主還元、中期経営計画

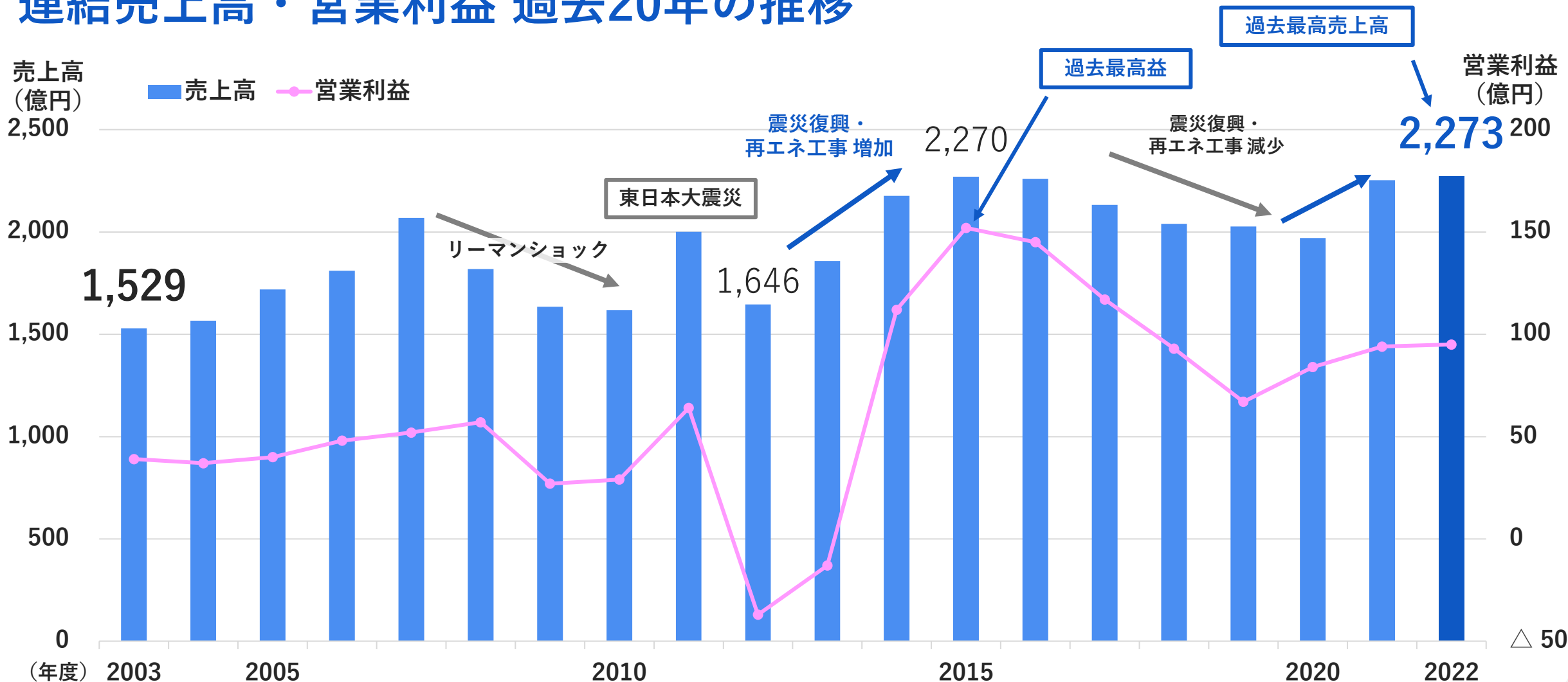
04 サステナビリティへの取り組み

05 ご参考

成長の軌跡

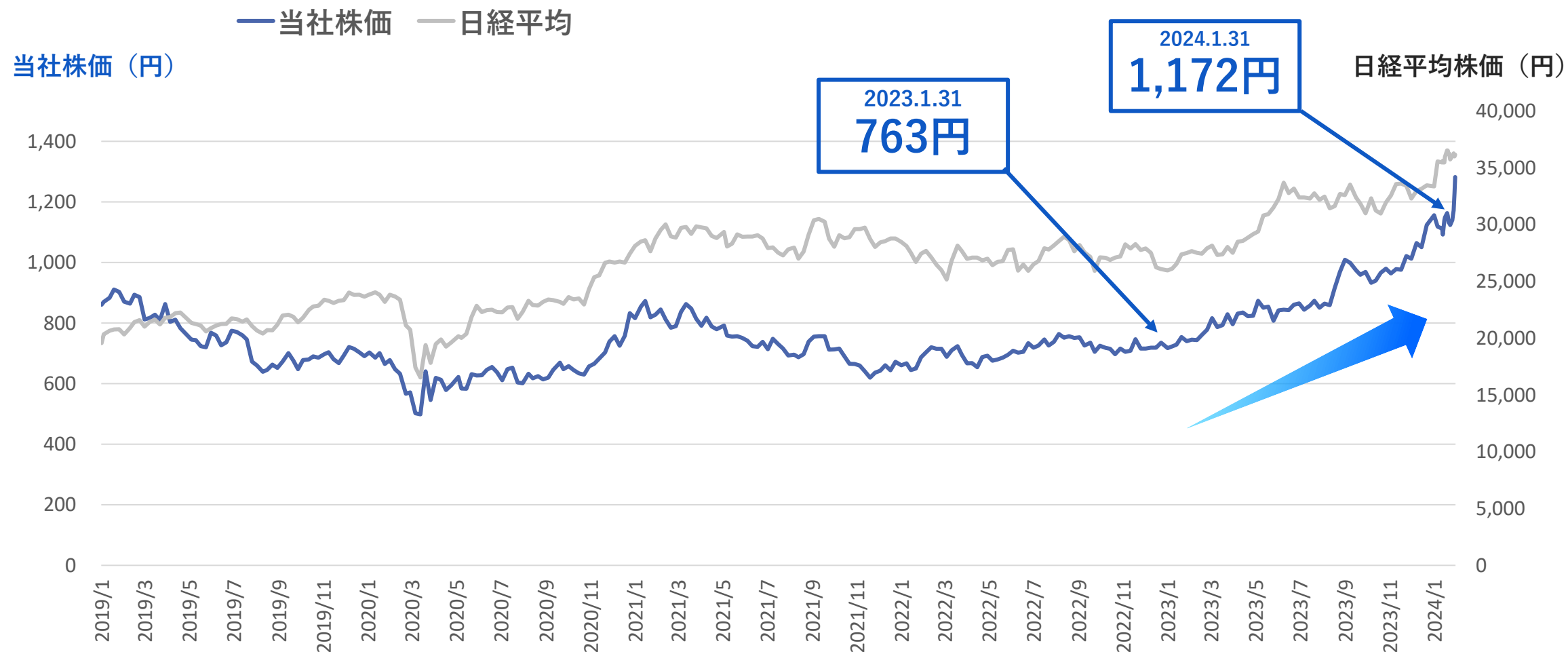
◆ 幅広く事業を展開し、着実に成長

連結売上高・営業利益 過去20年の推移



株価の推移

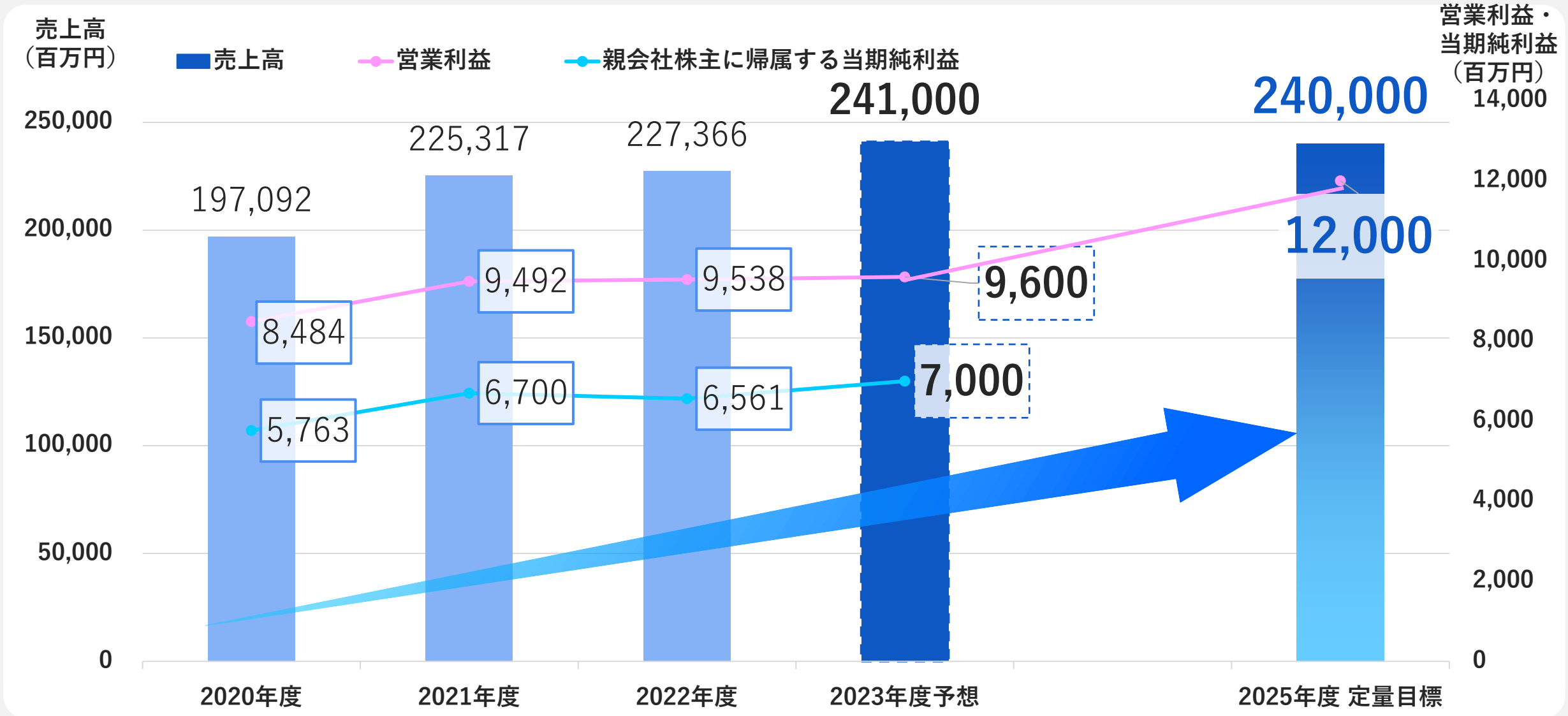
◆直近1年間で1.5倍以上に上昇



2023年度 通期連結業績予想

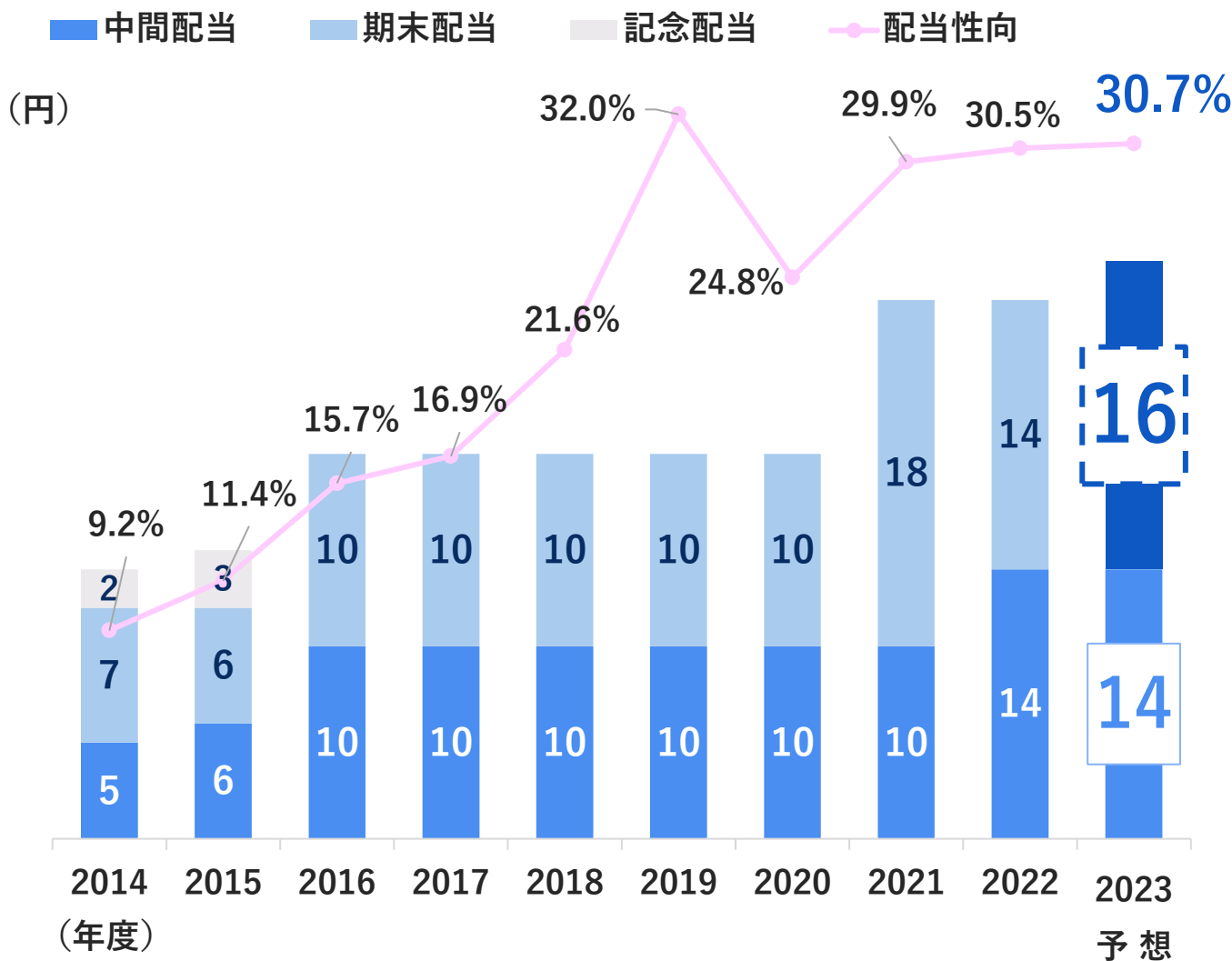


◆ 売上高・営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益とも上方修正



配当金の推移および予想

◆ 年間配当予想を1株あたり28円から30円に上方修正



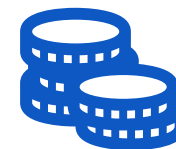
配当方針

2021年12月公表

『連結配当性向』 30% 目安

『安定配当』 1株あたり年間配当金
24円を下回らない配当

配当利回り



2.56%

2024年1月31日現在

(注) プライム市場平均 約2.06%

中期経営方針（2021～2025年度）

◆ 中期基本目標 「能動的な行動と変革への挑戦で新たな時代を築く」

2025年度 定量目標

連結売上高

2,400億円

連結営業利益

120億円

成長戦略に基づく投資枠

2024年度までに

300億円

2023年度 中期経営計画

◆ 定量目標達成のため、4つの力点に鋭意取り組む

2025年度 定量目標の達成

2023年度 中期経営計画に基づく主な施策

成長市場に注力

再エネ

工事の受注拡大

基幹送電網

工事の受注拡大

3つの基本戦略の推進

リニューアール

営業の強化

関東圏

での収益拡大

海外

事業の強化

事業基盤の構築・競争力の強化

成長戦略に基づく
積極的な投資

D X
の推進による収益拡大

成長を支える
人財の育成

4つの力点

力点 1 : グループ大での「安全・品質・信頼」の共有と実践

力点 2 : 地域との信頼関係強化と事業環境変化への対応

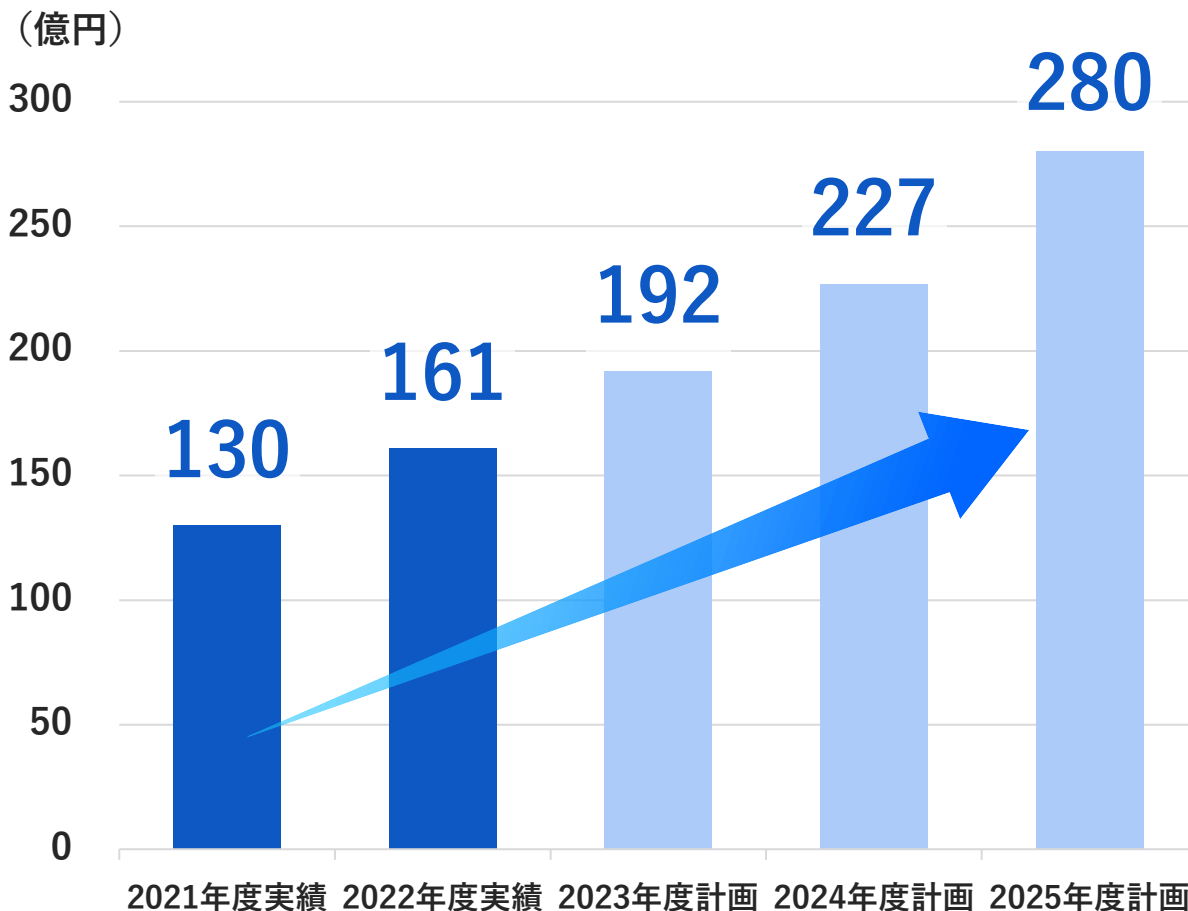
力点 3 : 成長分野への展開加速による企業価値の向上

力点 4 : 成長を支える人財の育成と業務変革の継続

関東圏の売上計画

◆ 関東圏での収益拡大を目指す

関東圏の売上計画 [個別]
(主な工事：屋内配線・空調管・情報通信)



戦略的営業の展開

屋内配線・空調管工事の **一括受注**

建築付帯通信設備工事

などの受注拡大

施工体制強化

収益拡大を目指す

近年の主な施工実績 (関東圏)

屋内配線工事



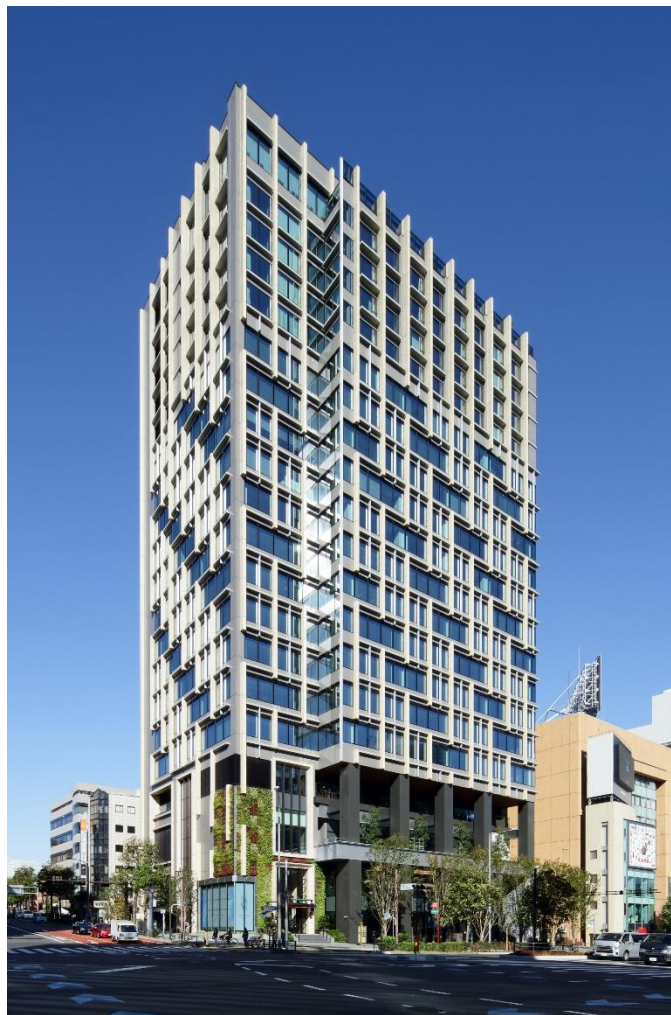
大手町フィナンシャルシティ
グランキューブ (東京都)



屋内配線工事



the ARGYLE aoyama (東京都)



空調管工事



MFLPプロロジスパーク川越 (埼玉県)



屋内配線工事



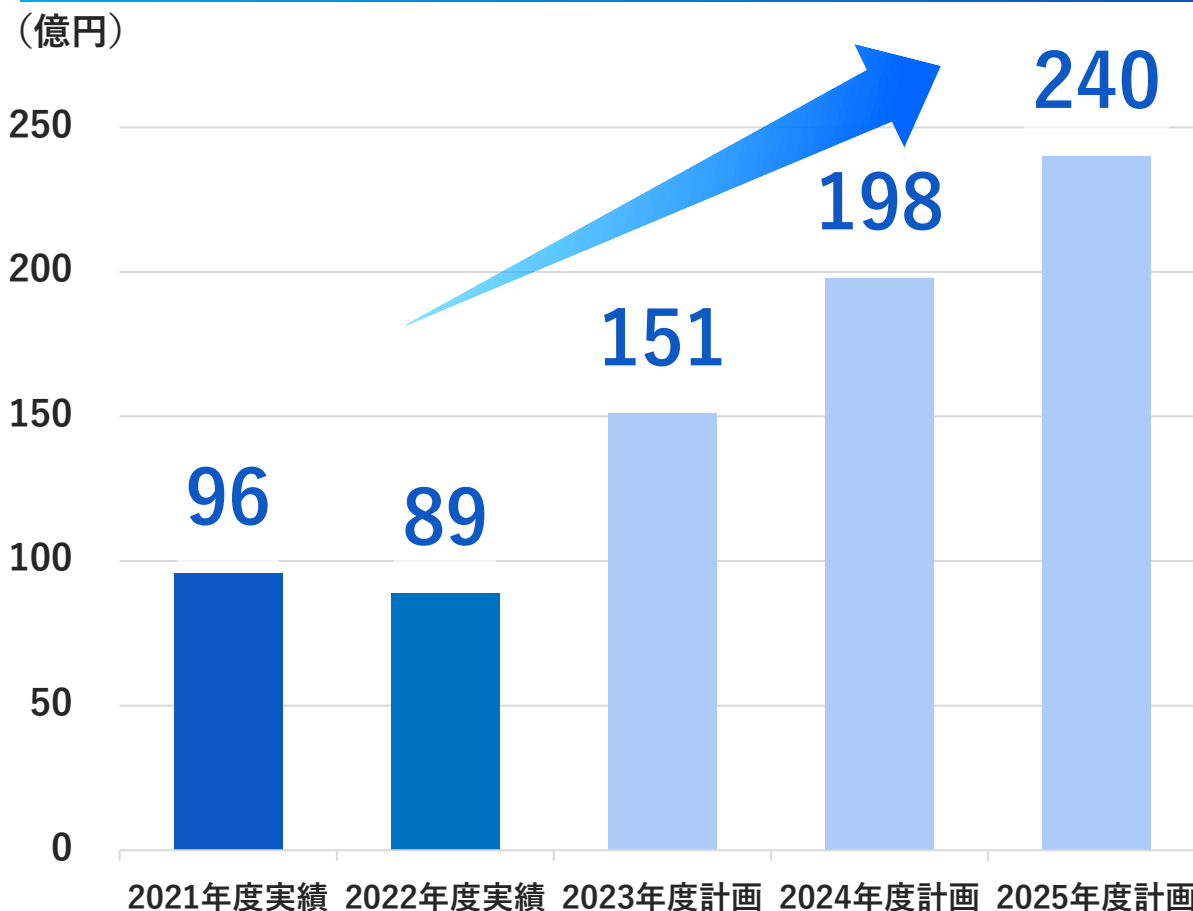
栃木県総合運動公園陸上競技場 (栃木県)



海外の売上計画

◆ 海外事業の強化を進めていく

海外の売上計画 [連結]
(主な工事：屋内配線・空調管・再エネ)



ベトナム事業の **強化・拡大**

ベトナム近隣国への **事業拡大**

アフリカや東南アジアなど

ODA※工事拡大



セネガル国におけるODA案件の様子

※政府開発援助 (Official Development Assistance) の略称。
先進国の政府や政府機関が、発展途上国の社会・経済開発のために行う援助のこと。

近年の主な施工実績 (海外)

ユアテックベトナム施工

ホテル・ニッコー・ハイフォン
ロイジェント・パークス・ハイフォン
(ベトナム ハイフォン市)



タイビン火力発電所 (ベトナム タイビン省)

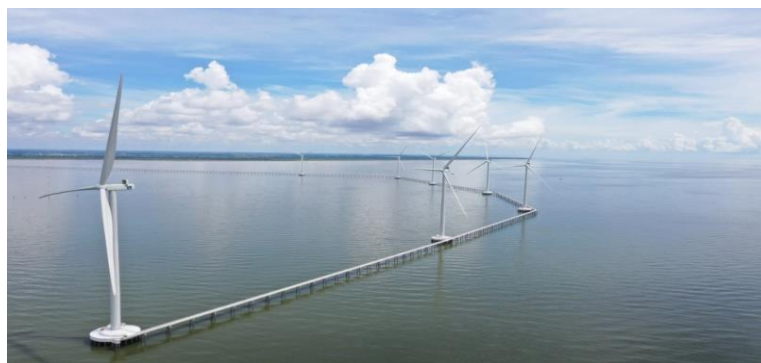


ノイバイ国際空港第2ターミナル (ベトナム ハノイ市)



シグマ社施工

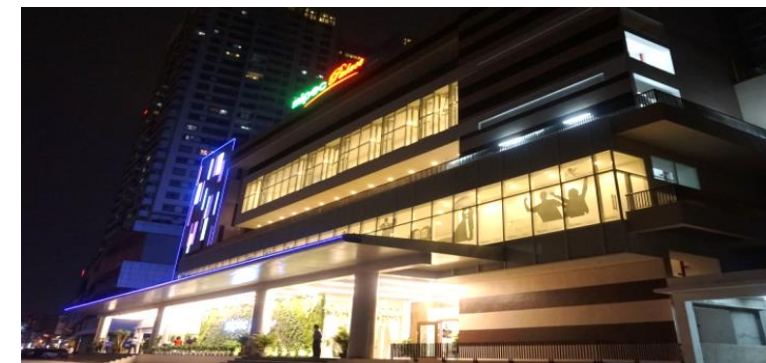
ソクチャン7洋上風力発電所
(ベトナム ソクチャン省)



ミカヅキスパ&ホテルリゾート (ベトナム ダナン市)



MIPECスポーツセンター (ベトナム ハノイ市)



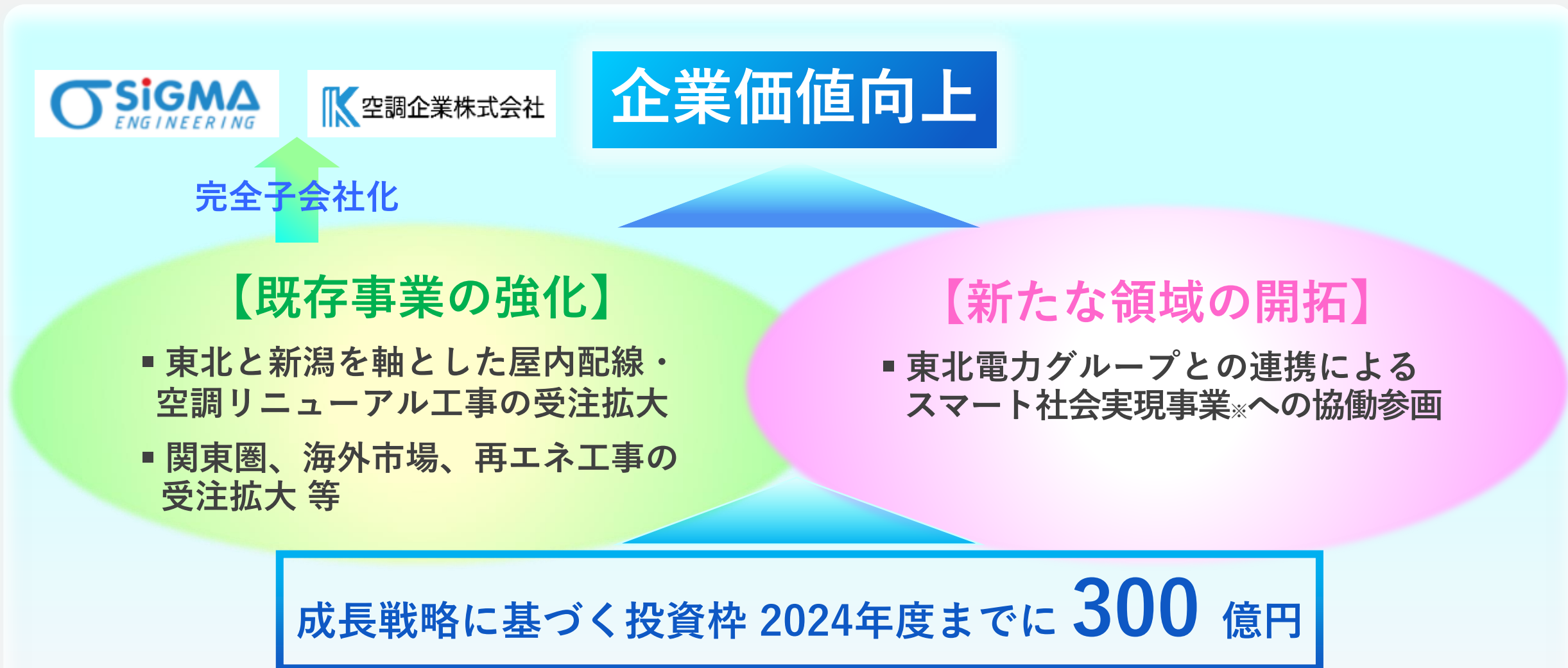
映像



シグマ・エンジニアリングは(株)ユアテックの子会社です

成長戦略に基づく積極的な投資

◆ 成長戦略に基づく投資を積極的に進め、事業基盤の強化をはかる



※東北電力グループ中長期ビジョンに掲げる「社会課題を解決し、地域に住む方々が快適・安全・安心に暮らすことができる『スマート社会』を実現する事業。」

DXの推進による収益拡大

◆ DX推進として数十億円規模を投資し、収益拡大をはかる



DXの活用による現場負担の軽減・効率化

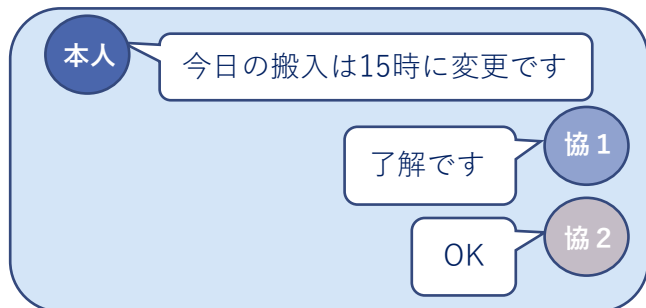
◆ 3テーマを軸にDXを推進していく

1. タブレット/スマホ利用拡大

現場、出張先からシステム操作

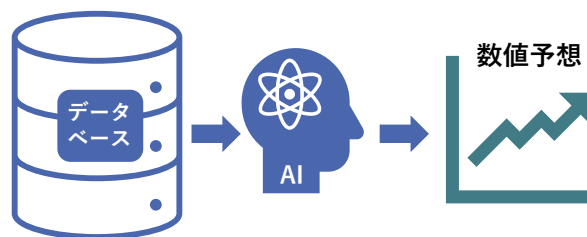


社外メンバーともチャットで
コミュニケーション

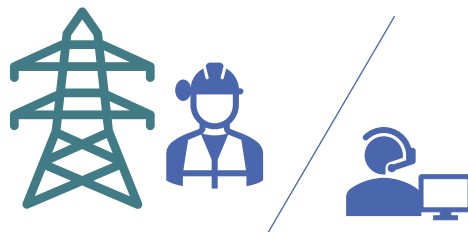


2. 最新デジタル技術の活用

AIが数値を予想

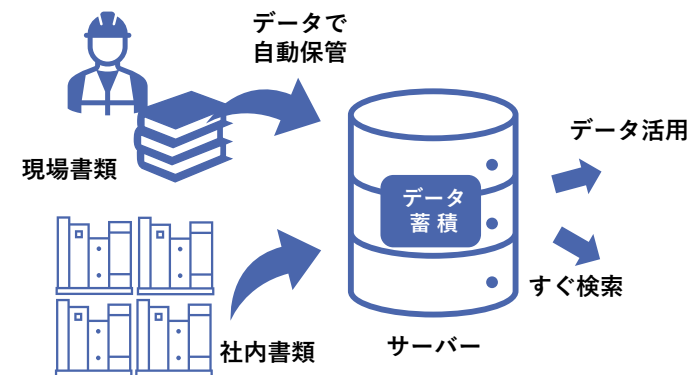


遠隔からの現場支援



3. 業務プロセスの最適化 を前提としたペーパーレス化

件名ファイルの整備を自動化



在宅勤務、フリーアドレス
など働き方を選択可能に



成長を支える人財の育成

◆「安全・品質・信頼」のユアテックブランドにさらなる磨きをかける

安全啓発センター



『安全文化の定着』



ユアテックブランド

安全確保

信 頼

品質向上

人財育成センター
300人規模の研修施設



『技術継承の拠点』

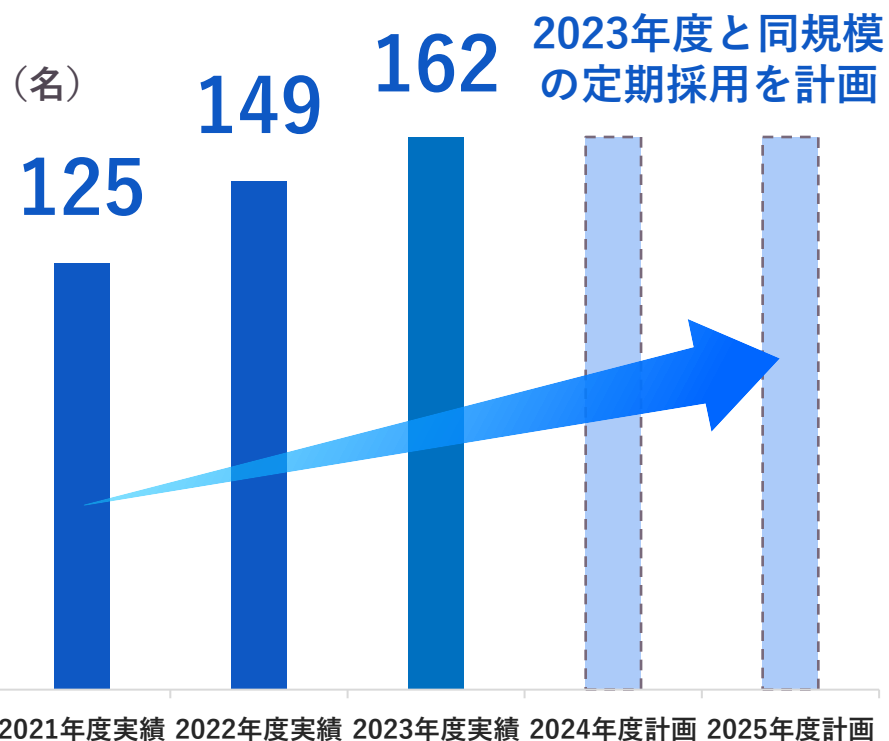


成長を支える人財の確保

◆ 新たな人財戦略の検討・立案を行う「人財戦略プロジェクト」を設置

定期・経験者 採用、再雇用の在り方、評価制度や報酬の面なども含めた人事諸制度全般を検討

定期採用計画



2021～2025年度の5年間における増員計画

技術系要員

屋内配線	87 名増
空調管	49 名増
情報通信	36 名増
送電	9 名増
発電	11 名増
土木建築	16 名増
再エネ	5 名増

注力事業・成長市場

屋内配線・空調管
工事の一括受注

Beyond 5 G※関連工事
建築付帯付情報通信工事

再エネ工事
送電網増強工事

※2030年代に導入される次世代の情報通信インフラ。5Gの特長である「高速・大容量」、「低遅延」、「多数同時接続」の機能を更に高度化することに加え、新たに「超低消費電力」、「通信カバレッジの拡張性」、「自律性」、「超安全・信頼性」などの機能の実現が期待される。

目次

01 ユアテックについて

02 ユアテックの強み

03 業績、株主還元、中期経営計画

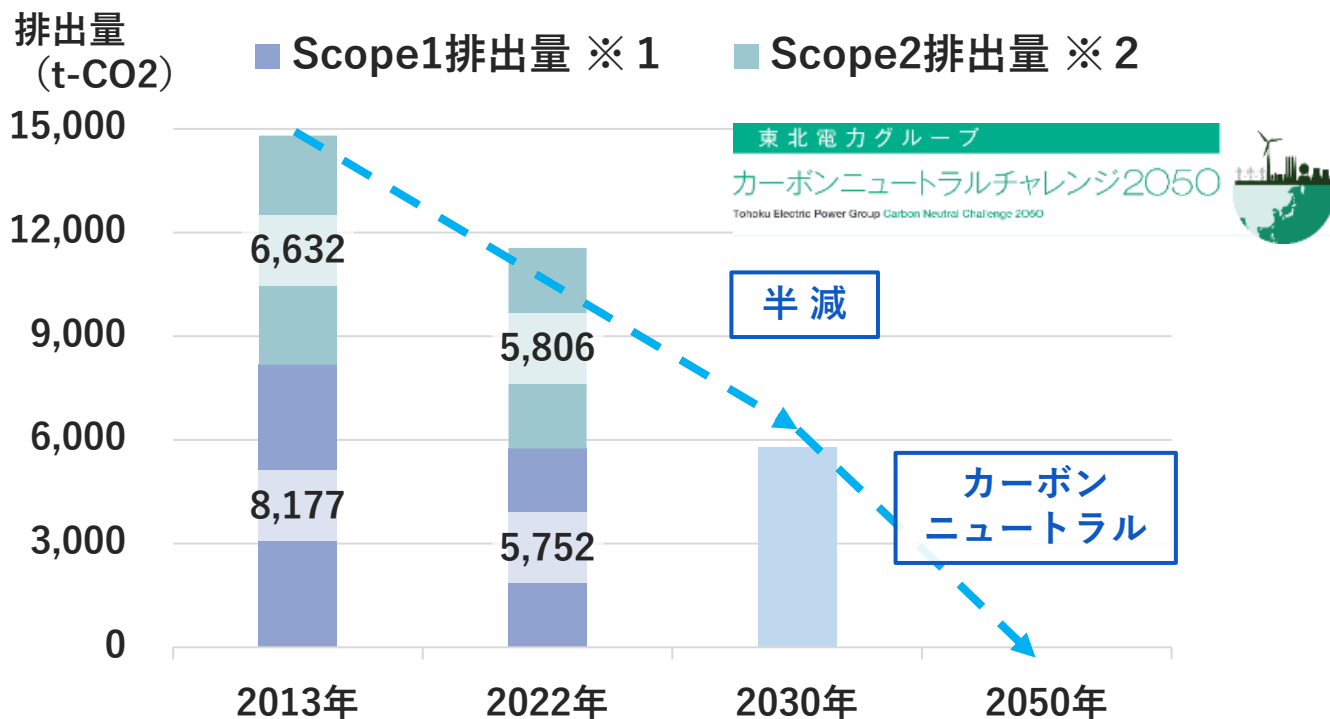
04 サステナビリティへの取り組み

05 ご参考

CO2排出削減目標

◆ 東北電力の掲げるカーボンニュートラルチャレンジ2050に挑戦

当社では東北電力グループの一員として、東北電力の掲げるカーボンニュートラルチャレンジ2050に挑戦しています。当社でも同様に中長期CO2排出削減目標を設定し、CO2排出量の削減を目指しています。



※ 1 Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（車両燃料等）
※ 2 Scope2：他社から供給された電気、熱、蒸気の使用による間接排出

【2030年度目標】

2013年度実績からCO2排出量
半減を目指す

【2050年度目標】

カーボンニュートラル
へ積極的に挑戦

SDGsの達成に向けて

◆ 中期経営方針に基づく各種施策を通じて、SDGsの達成に貢献

主な取り組み

環境 E



脱炭素に向けた取り組みの推進
⇒EV車両への入れ替え推進



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



環境配慮型設備の提供
⇒再生可能エネルギー工事



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を

社会 S



レジリエンス強化への寄与
⇒電力安定供給、災害対応力強化



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



快適な社会の実現
⇒ODAの地方電化計画に参画



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナリシップで
目標を達成しよう

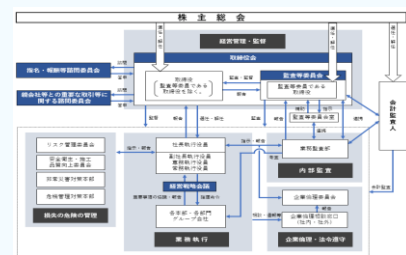
ガバナンス G



コンプライアンス徹底
⇒企業倫理、法令遵守の徹底



16 平和と公正を
すべての人に



コーポレート・ガバナンスの強化
⇒ガバナンス体制構築と実効性向上



16 平和と公正を
すべての人に

地域貢献

◆ 様々な地域貢献活動等へ積極的に参加

地域貢献活動

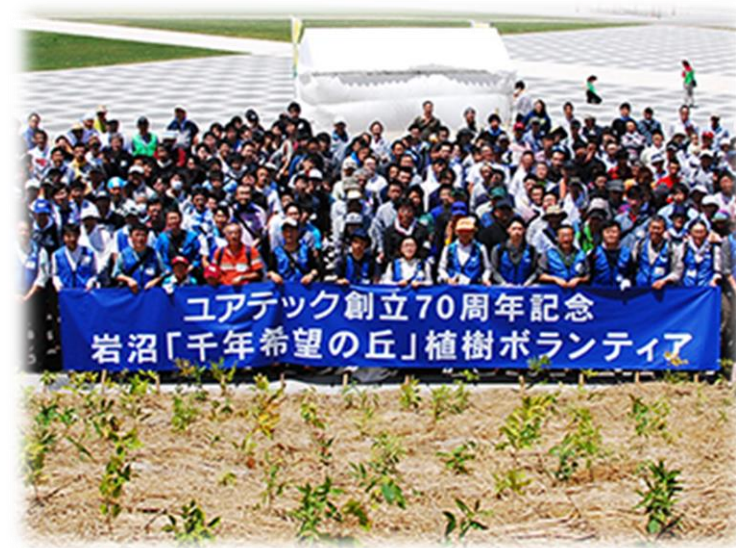


2016年から宮城県と連携し、当社施設をドクターヘリの臨時離着陸場の提供し、地域医療の一旦を担う

ボランティア活動



交通事故防止と美しい街づくりに貢献するため、高所作業車を利用した公衆街路灯や信号機等の清掃を実施



東日本大震災の津波被害後、公園として整備された「千年希望の丘（宮城県岩沼市）」において、植樹・除草活動に参加

地域貢献

◆ 様々な地域貢献活動等へ積極的に参加

地元プロスポーツ支援



仙台市が所有するサッカー専用スタジアムのネーミングライツを2006年に取得し、「ユアテックスタジアム（ユアスタ）」として地元浸透

寄付活動



各事業所に配備する非常災害用食料品を定期的にフードバンク等のNPO法人や地元の社会福祉協議会へ寄付

学習・就業支援活動



未来を担うものづくり人材の育成および技術・技能の伝承を目的に、出前授業に参加

使命

地域に密着したネットワークと
信頼の技術力でライフラインを守る

強み

カーボンニュートラルと当社事業の親和性の高さ

投資

「成長戦略に基づく投資枠300億円」を設定し、
事業基盤の強化をはかっている

目次

01 ユアテックについて

02 ユアテックの強み

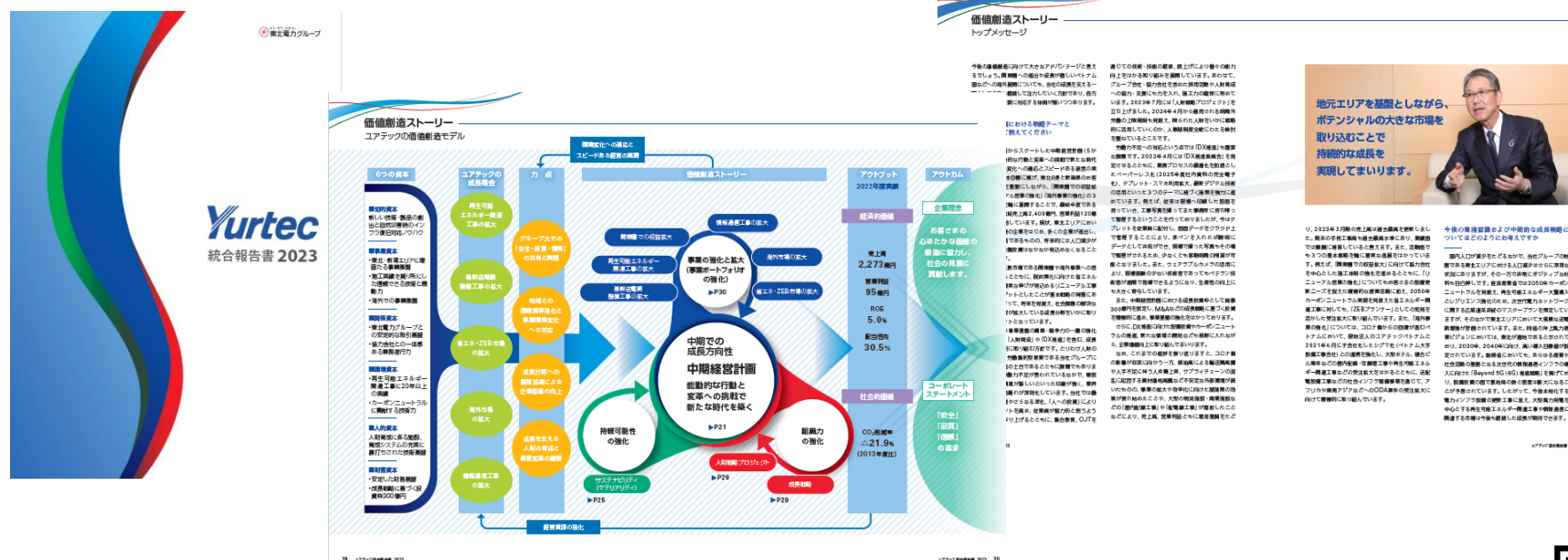
03 業績、株主還元、中期経営計画

04 サステナビリティへの取り組み

05 ご参考

◆ 昨年10月、当社初となる統合報告書を発行

◆当社事業の全体像、特長や経営戦略の方向性、成長機会やリスクなどの非財務情報を充実させることで、当社が目指す中長期的な価値創造の理解促進をはかる

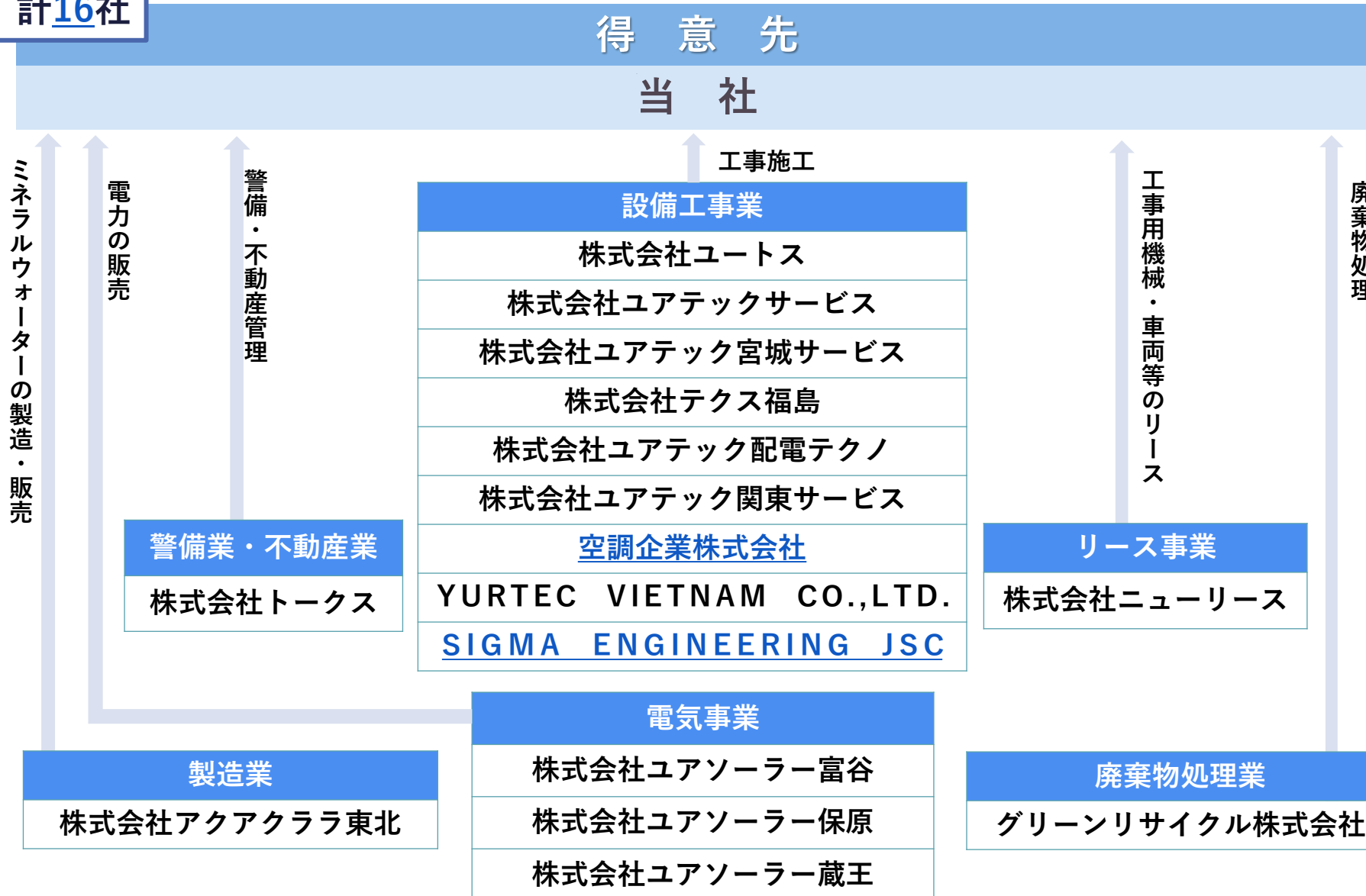


当社ホームページのIR情報にて公開

統合報告書 | IR情報 | ユアテック 東北電力グループ (yurtec.co.jp)



連結子会社 計16社



成長戦略に基づく投資枠によるM&A



(開示時データ)		
商 号	SIGMA ENGINEERING JSC (シグマ社)	空調企業株式会社
所在地	ベトナム国ハノイ市	宮城県仙台市
会社設立	2005年 1 月	1975年 8 月
資本金	160,000百万ベトナムドン	40百万円
従業員数	867名	38名
事業内容	電気設備工事、空気調和設備工事、給排水衛生設備工事、消防設備 等	冷暖房設備工事および関連設備メンテナンス、空調機器類の販売 等
売上高	2019年12月期 1,860,000百万ベトナムドン (約8,460百万円)	2019年 7 月期 1,040百万円
持株比率 (連結)	100% (2021年 6 月子会社化)	100% (2020年 9 月子会社化)
株式取得の目的	■ ベトナム国内の成長市場を取り込む ■ YURTEC VIETNAM CO.,LTD.との相乗効果により受注機会の拡大およびオペレーションの効率化	■ 施工体制の強化 ■ 営業面で相乗効果

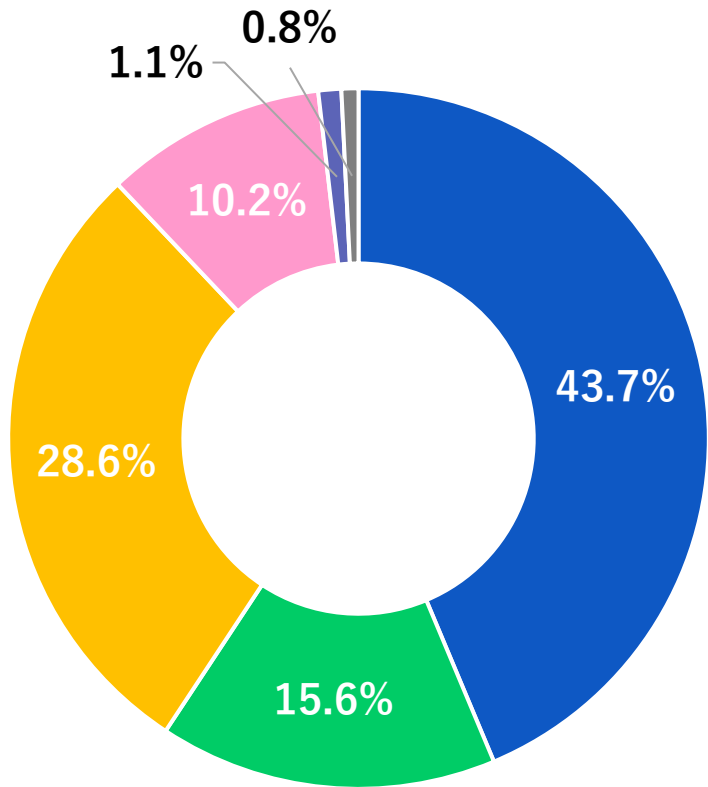
ご参考

株式の状況



(2023年 9 月末現在)

所有者別株式比率



- 国内法人
- 個人・団体
- 金融商品取引業者
- 金融機関
- 外国法人等
- その他

(注) 自己株式は、「その他」に含めております。

	大株主	所有株式数	持株比率
1	東北電力株式会社	29,915,066 株	41.75 %
2	ユアテック従業員持株会	5,775,443 株	8.06 %
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	5,281,400 株	7.37 %
4	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	1,736,500 株	2.42 %
5	日本生命保険相互会社	1,381,470 株	1.93 %
6	DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,000,000 株	1.40 %
7	株式会社七十七銀行	942,000 株	1.31 %
8	明治安田生命保険相互会社	459,223 株	0.64 %
9	JP MORGAN CHASE BANK 385781	326,550 株	0.46 %
10	光通信株式会社	316,000 株	0.44 %

(注) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式（565,736株）を控除し、計算しております。
また、自己株式は、上記大株主から除外しております。

持続的成長と企業価値向上に努めてまいります。
ご視聴、ご覧いただき、ありがとうございました。



株式会社 ユアテック

(銘柄コード：1934)

IRサイト

[IR情報 | ユアテック 東北電力グループ \(yurtec.co.jp\)](https://www.yurtec.co.jp)



ユアテック統合報告書2023

[統合報告書 | IR情報 | ユアテック 東北電力グループ \(yurtec.co.jp\)](https://www.yurtec.co.jp)



将来の見通しに関するご注意事項

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【当社ホームページ（IR情報）】
<http://www.yurtec.co.jp/ir/>

【本資料に関するお問い合わせ先】
株式会社ユアテック
宮城県仙台市宮城野区榴岡4-1-1
TEL：022-296-2111（代表）
担当：総務部法務室（株式）



仙台市が所有し、プロサッカーチームベガルタ仙台のホームスタジアムとなっているスタジアムのネーミングライツを2006年3月1日に取得し、名称を「ユアテックスタジアム仙台（略称：ユアスタ仙台）」としております。